

最新旧型機クロツクアツプ・サイリツクス

第十九回公演

上下左右

作・演出／川原 武浩

登場元号

T	立石	義江
S 1	上瀧	昭吾
S 2	中島	莊太
H	長沼	里佳
?	長岡	暢陵

STAFF

照明	出田	浩志
音響	青井	美貴
装置		
宣伝美術	岩瀬	幹基
制作	石橋	整
制作補助	ししはら	みさ
撮影	友山	敬太

カシヤリとスライドが切り替わるような音。
壁に四角い光が投影される。

その中心にゴマ粒のような黒い点。

その四角い光の傍らに、白衣で眼鏡の人間（S1）が一人。

医師なのか検査技師なのか、手に指示棒を持ち、その黒い点のあたりを指す。

S1 これは？

と、遮眼子で片目を遮りながら、その点に目を凝らす人間（？）が一人。
点のようなものは視力検査用のランドルト環（C）（正解は右）

? (即答) 右。

再度、カシヤリとスライドが切り替わるような音。

さらに小さなランドルト環が投影される。（正解は「上」）

S1 では、こちらはどうぞでしょうか？

（大きく右に首を傾げながら少し悩んで）左？

? 一つ大きいのに戻します。はい。

（首を傾げたまま即答）上。

S1 上…ですか？

（自信たっぷりに）はい。

S1 もう一つ大きいのにしますね。これはどうですか？

再度、カシヤリとスライドが切り替わるような音。

一段大きなランドルト環が投影される。（正解は「上」）

? (少し首を傾げて) 左斜め上。

S1 あー、あのですね、今はありませんから、左斜め上とか、そういうの。

? え、あるでしょ。

昔はあったんですけど、今はないんです。左斜め上。

? (反対側に首を傾げて) じゃあ、右斜め上。

S1 じゃあって何ですか。

? 左斜め上に見えるけど、違うっていうんなら右斜め上かなあって。

S1 左斜め上に見えたとして、違うっていうんなら普通、上か左になりませんか？

? いや、ない。上と左は絶対ない。右斜め上。

S1 説明が悪かったです。今はですね、斜めがないんです。

? 斜めがない？

S 1 はい。左斜め上だけじゃなくって、右斜め下も、右斜め上も、左斜め下も。今はです
すね、上下左右のどれか。4種類だけになってます。

? 前やったときはありましたよ。去年だったか、もう少し前だったか

S 1 もちろん古い検査表や検査機使ってるところもまだあるんで、完全になくなった
わけじゃないんですけど。うちは新しいのに変えたので。

? どうして?

S 1 やっぱりね、設備をモダンな新しいのにしていかないと、集客上、色々と大変で。

? ああ、いや、そういう意味じゃなくて。どうして無くなったんですか。斜め。

S 1 ややこしいからです。言う方も、聞く方も。

? そうですかね?

S 1 あと検査を早く終わらせるためですかね。上・下・左・右だったらリズムよく行く
んですけど、右斜め上とか左斜め下とかが間に挟まると、なんかもつきりしちゃうで
しょ。

? それはまあ、そうですね。

S 1 右に見えるけど、もしかして右斜め上? それとも右斜め下? みたいに無駄に
悩む時間も増えるし。

? なるほど。

S 1 おっと。こんな話しているとそれこそいつまでも検査が終わりませんね。続き、いき
ますよ。もう一つ大きくします。はい。

はつきりとわかるくらいの大きさのランドルト環が投影される。(正解は右)

? (右に大きく首を傾げて) 上。

S 1 あの、見えてませんよね。

? いえ、見えます。

S 1 一番初めの「右」。あれはまぐれですか。

? 右でしょ。見えてましたよ。

S 1 いやいやいや。

? なんですか。

S 1 同じのもう一回出したら「上」って言ったじゃないですか。

? 上だったでしょ。

S 1 右でした。だって同じのですから。

? じゃあ右で。

S 1 あの、検査なんで。クイズとかそういうんじゃないで。わからなかったときは、当
てずっぽうじゃなく、正直にお願いします。

? (不満そう) …はい。

S 1 続けますよ、これは?

と、そこに遮眼子を持った白衣の人間(T)が現れる。

T、?のもう片方の目を塞いでしまう。

? 見えません。
S 1 これは？
? 見えません。
S 1 これ。
? まったく見えません。
S 1 かなり悪いですね。目。よく眼鏡無しでこれまで生活してこれましたね。
? そんなに悪いんですか？
S 1 裸眼で車の運転はできないレベルですね。最低でも片目で0.8、両目で0.7ないと
いけませんから。これが見えてないとすると、0.2切ってますね。じゃあ、これはど
うです？

客席からでもはっきりとわかるような巨大なC（左）が投影される。

? どうにも見えません。
S 1 視力、0.1ありませんよ。これ以上大きいやつはありませんので…
と、そこにさらに遮眼鏡を持った白衣の人間（S2）が現れる。
S 2、?の両耳を遮眼鏡で塞ぐ。

S 1 見えるようになるまでこちらに近づいてきてください。

?、棒立ち。

S 1 あの、聞いてます？
? え、なんですか？

S 2、?の両耳から遮眼鏡を外す。
Tは?の目をふさいだまま。

S 1 （大声で）見—え—るようになるまで—こちらに近づいてきてください—い。
? どうしたんですか、突然そんな大声で。
S 1 突然って、なんかボ—ツとしてあんまり聞いてないような感じだったので。
? 聞こえます。大丈夫です。
S 1 そうですか。じゃあ見えたところで「上」とか「下」とか、その場で言うてくださ
いね。
? あ、はい。わかりました。

?、スクリーンの方へ近づいていく。
そこにさらに遮眼鏡を持った白衣の人間（H）が現れる。

?、そのまま更にスクリーンの方へ近づく。
T、?から離れる。
?、足を止め：

?
(見えた) ひ：

?が口を開こうとした瞬間、S2が両耳を、Hが?の口を塞ぐ。
?、その場で立ち尽くしたまま。

S1 あの、わからなかったらもつと前にいいですか？

? (聞こえてない)？

S1 (大声) わからなかったら：

S2、?から離れる。

S1 もつと前にいいですか？

?、頷いて前進。

?、ほぼスクリーンに密着

H、?から離れる。

? 見えません…。

S1 そりゃ見えないでしょ。そんなに近づいたら。

音楽。

?を取り囲む白衣の集団。

抵抗する、?

?、T、S2、Hの白衣をはぎ取る。

(白衣をはぎとられた登場人物はシーン1のキャラクターの配置につく)

S1、逃走。

?、そのあとを追っていく。

(シーン0終了)

茶の間。オシャレに言えばリビング。
舞台にはT・S2・H。
なんとなく気まずい空気が流れている。

S2 で。どうしたんだ。

H 今日は折り入って、お話したいことがあります。実は…。

S2 まあ待て。皆まで言うな。わかっている。わかっているぞ。独身で一人暮らしの娘が、盆でも正月でもないのに珍しく実家に戻ってきて普段と違うかしこまった言葉づかいで「大事な話がある」。父さんももういい年だ。心の準備はできてるつもりだ。さあ、どうした。言ってみなさい。

S2、全然心の準備ができていない様子。

H あの、実は。

S2 待て待て待てちょっと待て、父さん深呼吸する。うん。大丈夫、大丈夫だ。心の準備は宇宙戦艦ヤマトの波動砲並みにできた。120%だ。大丈夫。さあ、言ってみなさい。

静かな間。

S2、過呼吸のように浅い息をハアハアと繰り返す。

H あの、実は新しい…

S2、その言葉を聞き終える前にバツタリと倒れる。

T# あなた！？

H# 父さん？

S2 (か細い声で) 母さん、袋。コンビニとかの。なんでもいいから。

T、コンビニの袋を持ってきてS2に渡す。

S2、その袋を口に当てて…

S2 すまん。大丈夫、大丈夫だ。

H いや、全然大丈夫じゃなさそうだし。

S2 察した。お前の「あの、実は新しい…」の部分までで、クイズ王のように続きを察した。それに対する父さんの解答は…

なにかクイズのボタンを押すようなアクション。

S 2 ピンポン！ 「もうお前もいい大人なんだから、お前の自主性に任せる。任せるが、相手による」だ！

H 相手？

S 2 いるだろう、相手。

H いや、相手っていうか…

S 2 母さん。

T はい？

S 2 母さんは知ってるんだろう。もう聞いてるんだろう。

T いいえ、何も。

S 2 という風に答えるように、打ち合わせ済みなんだろう。

T 聞いてませんよ、何も。

S 2 だいたいこういう場合、父親だけが知らないって相場が決まってるんだ。話は既に出来上がってて、母さんによる方が一のアフォー体制も万全。最後に、形式的に、父さんに伝えよう。そういうことなんだろう。その襖をガラリと開けると、なんか正座して頭を下げる男が出てくるんだろう。そしてこう言うんだ。「お義父さん…」。

H アーアーアー！

H いや、そうじゃなくて。

S 2 いやわかってる皆まで言うな。覚悟はできてる。覚悟はできてるんだ。最悪新しい家族が一気に二人増えます的な事態までは想定している。想定内だ。大丈夫だ。（想像した）なんだと！ いや、大丈夫じゃない。そのものズバリな単語を聞いてしまったら、冷静でいられる自信がない。そうだ！

H 何？

S 2 肝心な単語は「アレ」とかそんな感じなので、曖昧に言ってくれ。

H 何それ。

T なんだかわからないけど、それがいいわね。

H なんだかなあ。ええっと、実は新しいアレがうん。

S 2 アレするので。

H うん。

S 2 アレしたいと思って。

H なんだと！ 許さん、許さんぞ！

T あなた、今のでわかったの？

S 2 いや、わからんが、文脈的に許せない予感がする。

H 違うよ。だから、アレがアレするから、名前を考えたいと思って。ほらやっぱり！！

S 2、意味不明の動き。

T あなた、落ち着いて。想定内なんでしょ。

S 2 そうだ。想定内、想定内だ。で。
H 2 でって？

S 2 いつなんだ、その、時期的なものは。
H 2 来年の春くらいかな。

S 2 春？ 春って、もうすぐじゃないか！

S 2、言葉とはうらはらに足腰が立たなくなる。

T 大丈夫なの？ 準備とか。

H うん、まあ、間に合うんじゃない？

S 2 春。春。

S 2、クイックルワイパー的なものを杖代わりになんとか立ち上がる。
と、いつの間にか襖の隙間から、何者かが中の様子をうかがっている。

S 2、その何者かと目が合う。

S 2 母さん。

T はい？

S 2 見えた。いる。やっぱり居るぞ、その襖の向こうに！

襖が開くとそこには、？。

？、光速で土下座の後、ガバツと顔を上げて：

？ お義父さん！

S 2 (悲鳴) お義父うおさうあん？ イエアアアアア！

S 2、シヨックのあまりS 1に変身する。

(どんでん返しか何かでS 2が消え、同じ服装のS 1が現れる)

S 1 貴様ごときに、お義父さんなどと呼ばれる筋合いはないわあつ！

S 1、クイックルワイパー的なものを振り回し立ち回りを演じる。

S 1 貴様ごときに！ 貴様ごときに！ 貴様ごときにいい！

？、その攻撃を悉く躲し：

？ 何をするんですか、お義父さん、危ないじゃありませんか！

S 1 だからワシは貴様のお義父さんなどではない！

？ そんな。

? S 1
どこの馬の骨か知らんが、そこへ直れ！
戦争反対！

S 1、戦前な愛国スローガンのものを連呼しつつ攻撃を繰り返す。
?、またしてもそれをすべて躲す。

S 1
おのれ、チヨロチヨロとちよこざいな。

S 1、懲りずに?に力強い一撃。

?
専守防衛！

?、S 1の攻撃を躲し、反撃。

S 1、敗北。

S 1
母さん！

T
はい。

S 1
交代。

S 1、Tに得物を引き継ぐ。

T、なんとなく薙刀的な構え。

S 1
こうみえて、母さんは連戦連勝、無敗の女だ。

T、得物を自由自在にコントロール。

S 1
母さん、やってしまいなさい。

T
はい！

H
ちよ、ちよつと、やめてよ二人とも。

S 1
お前の気持ちもわからんではない。しかしだ、父さんと母さんの気持ちも考えてみる。蝶よ花よと大事に育てた娘が、大事な話があるといつて連れてきたのが…これか！ 許さん、許さんぞ！

ちよつと、母さん。

夫唱婦随。

時代錯誤。

T
(気合) きええええっ！

Tの太刀筋が、?の頭頂部をとらえる。

?
大丈夫、痛くない！

?、といいつつ、多少のダメージを負ってその場にへたり込む。

T 仕損じたか。

? 話し合いましょう。話せばわかる。

S 1 問答無用!

T、S 1に得物をバトンタッチ。

T (なんか銃でも取り出しそうなしぐさ) さらば、犬養毅。

? いやいや、そんな物騒な。

S 1 天誅! キエエエ!

S 1の振りかぶった得物がHの頭頂部にヒット。
間。

H 大丈夫、意外と痛くな…

H、その言葉と裏腹に後方にゆっくり倒れる。

T、Hをしつかりキャッチ。

S 1 娘ーっ!

T (怒り) あなたーっ!

S 1 ごめんなさーいっつ!

S 1、申し訳なさでS 2に戻る。

S 2 母さん、ここは父親として、男同士でしっかりと話すから。ちよつと、外してもら
つていいかな。

T (頷く)

T、Hを引きずり、部屋の外へ。

残されるS 2と?。

気まずい間。

S 2 君ね。

? はい。

S 2 仕事は、何をしてるんだ。

? なんて聞くんですか、そんなこと?

S 2 まさかあれじゃないだろうな。3 Bとかじゃないだろうな。

? 3 B?
S 2 3 Bだよ、3 B。アタマにBがつく3つの職業。
? ああ、(お任せ) ブロガー、ブライダルプランナー、ブツダ。
S 2 違うよ。3 B。バーテンダー、バンドマン、美容師。結婚したら苦勞すると言われ
? ている三大職業だ。
? 職業差別でしょ、それ。
S 2 五月蠅い!
? あの。
S 2 なんだ。
? どうして美容師だけ日本語なんですかね。
S 2 知らないよそんなこと。語呂合わせだろ語呂合わせ。
? バンドマンとか、最近言いませんよね。ミュージシャンでしょ、せめて。
S 2 細かいことはどうでもいい。で、どうなんだ。
? とりあえず、そのどれでもありませんが。
S 2 バンドマンの中には画家とか劇団員とか、資格不要で夢を追う系の職業全般が含まれるんだがそのどれでもないな。
? 大丈夫です。
S 2 それから君。
? はい。
S 2 君、長男とかではないだろうね。見ての通り、ウチは娘一人。仮に認めるといこう
? となってもだ、君にはマスオさんになってもらわないと困るんだ。
S 2 (マスオさん風に) ヒエー。
? ?
S 2 (マスオさん風に) ヒエー。どうでしょう似てますか?
? 何に。
S 2 マスオさん。精一杯真似してみたんですが。ヒエー、ひどいよサザエー。
? そういう意味じゃない。
S 2 え、だってマスオさんになってもらわないと困るって。
? 誰がマスオさんの物真似をしろと言った。マスオさん、つまりは婿養子になっても
S 2 らわないと困るんだ。
? お言葉ですが。
S 2 なんだ。
? マスオさんは妻であるサザエの実家・磯野家に同居しているだけで、婿養子ではあ
S 2 りませんが。
S 2 細かい口答えをするな。で、どうなんだ。
? そもそも質問はなんでしたっけ?
S 2 君、長男とかではないだろうね。
? 長男です。
S 2 兄弟は。
? 一人っ子です。

S 2 親戚は、
? ほほいません。
S 2 ほほ、ということはいることはいるんだな。そこ、もっと詳しく。
? 一体何が知りたいんですか。
S 2 父方の親戚は。
? いません。親父も爺さんも一人っ子だったので。
S 2 駄目だろ、それじゃ。
? 駄目って、一人っ子の長男で親戚がほほいないと何かいけませんか？
S 2 い、い、い、いけませんかだとおおお！

S 2、雄たけびをあげながらS 1に変身。
S 2、消える。

S 1 いいわけがないだろう！ お家断絶の危機だぞ。
? お家断絶？

S 1 断る。この話はなかったことにしてもらおう。何よりお互いの家のためによくない。
? あの、さつきからおっしゃってるこの意味ががちよいちよわからんんです
? けど。

S 1 もう話すことは何もない。帰りましたまえ。
? 落ち着いてくださいよ、後藤さん。
S 1 だから貴様ごときにお義父さんなどと呼ばれる筋合いはない。

? ?は「後藤さん」と言っているが、S 1には「お義父さん」と聞こえている様
子。

? いや、確かに気になってたんですよ。後藤さんって呼び方。音の響きが後藤散とか
龍角散とか、なんか葉っぱいし。

S 1 馬鹿にしてるのか！

? じゃあどう呼べば。ええと、後藤様。後藤殿。あれ、そもそも様と殿って敬称とし
てどっちが上でしたっけ？

S 1 何を言っとるんだ。

? 後藤先生、後藤先輩、後藤氏、後藤閣下、後藤陛…

S 1 (遮って) 不敬だぞ、貴様！

? あの、もういつそファーストネームで呼びしてもいいですか？ ヘイ、ナイス
トウシュー、ジョニーー！

S 1 いったい何の話をしてるんだ。

? いや、ですから、「後藤さん」とお呼びするのが駄目なら、いったい何と呼ぶのか
の検討をですね。

S 1 後藤さん？

? 後藤さん、ですよ。

S 1 いかにも後藤だが。
? ですよ。よかつた、家間違えたかと思った。
S 1 さつき確かに「お義父さん」と

S 1、S 2と入れ替わる。

S 2 呼んでたよね。
? お義父さん？ いいえ？
S 2 言つてたでしょ。そう聞こえたもん。
? なんですかそれ。
S 2 こつちこそなんですかそれだよ。言つたでしょ。頭を深々と下げて「お義父さん」
つて。

? 聞き間違いでしょ。

S 2 いいや、確かに言つた。そう聞いた。

? 私、言い間違えましたかね？ いやいやいや、ないでしょ。どうして私が、後藤さんのことをお義父さんと呼ぶんですか。…え、もしかして私の出生に何か重大な秘密があつたりします？

S 2 君、いったいなんなんだ？ うちの娘を貰いに来たんじゃないのか。
(マスオさん風) ヒエーツ、娘を貰うつて、そんな人身売買みたいな。

と、そこに意識が戻つたHとTが飛び込んでくる

T あなた、大変！
S 2 どうした母さん。
T あなた、違うんですつて、その人。
S 2 何がどう違うんだ。
H ていうか、何をどう勘違いしてるの、お父さん。
S 2 勘違い？ その、あれじゃないのか、結婚、するんじゃないのか。
H 結婚？
S 2 で、生まれるんだろ、来年の春には。
H 生まれる？
S 2 子供：いや、そのなんだ、初孫が。それを認めてもらうために、実家に相手連れてきたんじゃないのか。
T 違うのよ、あなた。
S 2 違うつて、何が違うんだ。
T 頭からお尻まで。全部。
S 2 え？ 結婚…
H しないよ。
S 2 最近流行りの事実婚つてやつ？
H そういうことじゃなくて。

S 2 いかん、いかんぞ。生まれてくる子供のためにも、せめて籍だけは入れなさい。
H お父さん、落ち着いて。
T だから、あなた、違うんですってば。
S 2 だから何が違うんだ。何が何だかさっぱりわからん。
T だから言ったでしょ。頭からお尻まで全部あなたの勘違い。結婚もしないし、子供も生まれません。
S 2 だって、言ってただろ。名前を考えるとかなんとか。そうだ、「新しいアレがアレするから、名前を考えたいと思って」って
H え、お父さん、なんだと思ってるの。
S 2 それは、ほら、お前。
H 新しい
S 2 命
H が
S 2 誕生
H するから、名前を考えたいと思って。なるほど、意味通るね。
S 2 結婚もしないし、子供も生まれえない。(？を指して)：それじゃあこの人いったい、何なんだ。
H 知らない人。
S 2 (マスオさん風) エーツ！
H 正確に言うと、人の紹介で今日初めて会う人。
H はじめまして。
S 2 そうならそうと君も早くいいなさいよ！
？ いや、いきなり部屋に入るなり襲いかかられたので、完全にごあいさつのタイミングを逸しました。
S 2 それは申し訳なかったが、君、玄関からそこまで勝手に上がりこんでたってことだよね？
？ チャイム、押しましたよ。
S 2 いや、聞こえなかったよそんなの。
？ しばらく待ってたんですけど、誰も出てこないし。悪いなあ、と思いつつ声のする方に来てみれば、なんだかお取込み中のようにでしたので、いつ入るべきか襖の向こうで右往左往してました。
S 2 で、君は。
？ 記者です。
S 2 記者？ 新聞とか、雑誌とかの？
？ はい。一人っ子の長男ですが、職業、3Bじゃありません。微妙に3Kな職場ですが。
S 2 で、記者さんが、うちに何の用で？
？ 予想をうかがいに参りました。
S 2 予想？
？ 予想です。新しい、アレの。

? S
2

アレ?
はい、新しいアレの予想を。

競馬の関西G Iレースのファンファーレが鳴り響く。
ファンファーレに合わせ、?以外のT、S 2、Hが退場。

(シーン1終了)

ファンファーレの響く中、ハンティング帽を被ったS1が現れる。

S1 予想ね。予想するよ。だって予想屋だからね。レースは次のメイン？

? ええ、次のアレを。

S1 じゃあ、はい。

S1、手を突き出して予想代を要求。

?、S1に予想代を渡す。

S1 そうだねえ。馬連なら三番から流して一番・六番・十五番ってとこだね。

? ということは、一番二番、三番六番、三番十五番ですね。

S1 その通り。

? 倍率は？

S1 順に11・7、10・4、2・5倍だね。

? えらく低いですね。

S1 しょうがないでしょ。鉄板だもの、このレース。決まり決まり、三番からの流しで決まり！

? ちよつと堅すぎませんか？

S1 競馬はね、一に実績、二に血統、三、四がなくて、五に鞍上よ。実績・血統・騎手、トータルで考えたらこの結論以外にあり得ない。間違いない。次のレースは本命で決まり。

? はあ。

そこにさらにハンティング帽を被ったTが現れる。

T 本命で2・5倍。つまらない競馬だねえ。

? そうですか？

T 駄目駄目駄目そんなんじや。単に一番人気頭にして四番人気まで順に並べてるだけじゃないの。そんなの予想屋じゃなくても予想できるでしょ。だいたい、3本流して2・5倍じゃ本命きちゃったらマイナスでしょ。

? 確かに。

T 来るのよ。このレース。私しか知らない馬が来ちゃうのよ。

? はあ。

T 聞く？ 聞いちゃう？ 私の予想。

? あ、はい、お願いします。

?、S1に予想代を渡す。

T 単勝一本、馬番十一番プロレタリアト。
すごい名前ですね。

T ? もう引退したけど、ブルジョワって馬も地方競馬に居たね。
倍率は？

T ? 326・8倍。万馬券！ 17頭立てでぶつちぎりの17番人気。

T ? いや、こないでしょ、そんな馬。

T ? それが来ちゃうのよ。

T ? 理由は？

T ? 京都の芝にはめっぼう強い。徐々に調子を上げてきて、前走3000メートルの長距離レースで3着だ。しかもGI長距離初参戦。みんな知らないから人気がない。人気がないから倍率が高い。ところがどっこいふたを開けると実力派。来るよ、来ちゃうよ。十一番。

T ? いやあ、でも17頭中の17番人気なんでしょ？

T ? 人が走るんじゃない。馬の実力が走るんだ。過去の延長線上にだけ、未来があると思っちゃいけないよ。

T ? うーん。

T ? 勇気がなければ複勝でも。3着までに入れば、ほぼ万馬券の89・6倍。さあさ、もってけドロボー！

と、そこにまたしてもハンチング帽を被ったHが現れる。

H ? H ? こないこない、そんな大穴、絶対来ない。
ですかね。

H ? 来るわけじゃないでしょ。大穴が来る理由なんてみんな後付け。来てほしい馬に、とにかく後付けで勝ちそうな理由を色々並べるだけ。そんな文系の頭じゃ当たり馬券は取れません。

H ? じゃあ、どうすれば。

H ? 血統、過去のデータ、調教の状況、あらゆるデータというデータをクラウド上にぶち込んで、AIがディープリングして予想します！

H ? すごい！ なんかわからないけど当たりそう。

H ? 確率・統計・回帰分析。数字と数式の理系の世界です。

H ? なるほど。わからないけど、なんかわかる気がしてきた。

H ? 聞きます？ 予想？

H ? あ、はい。是非。

?、Hに予想代を渡す。

H ? では。(H、スマホ的なモノを操作して) 出ました。馬連で、一番三番、一番五番、一番七番、一番九番、三番五番、三番七番、三番九番、五番七番、五番九番、七番九番、それから…

? ちよつとちよつと!

H (無視して) 単勝で馬番一番、三番、五番、七番、九番、十一番、十三番、十五番、十七番:

? いや、多すぎでしょ。

H それから念のため二番、四番:

? まだあるの?

H 以上です。

? 以上って、今覚えきれないくらい選択肢がありましたけど。

H いくつかデータを追加すれば、もう少し絞り込めますね。

? お願いします。

H、? に手を突き出して:

? H ? なんですか?

H 絞り込みをするには、追加料金が必要です。

? そんな。

? どうします?

H ちよつと考えさせてください。

?、悩みながらそのあたりをウロウロする。

と、そこにまたしてもハンチング帽を被ったS2が現れる。

S2 ビッグデータ? AI? ディープラーニング? 所詮そんなものは人間の作り

出した儂いものです。そんなもので未来が判るなら、誰も予想を外したりしない。結果を決めるのはいくつかの必然と、いくつもの偶然です。機械予想でわかるのは必然の積み重ねだけ。無限の組み合わせの偶然を限りなく必然へと近づける力。私にはそれがありません。

? なんかスケール大きい!

S2 聞きますか、予想。

? あ、はい、是非!

?、S2に予想代を渡す。

S2 では。

S2、祈祷のような怪しげな動き。

最後に小学生がジャンケンを予想するようなポーズで。

S2 見えた。

? はい!

S 2 十七番、黒毛の馬がまず一気に先行。大逃げだ！ しかし本命の三番も距離をおいてついていく。その後ろにノーマークの十番。徐々に徐々に先頭との差を詰めていく。最終コーナー手前で本命の三番が一気にスパート。馬群に飲み込まれる逃げ馬の十七番。先頭は三番。最後の直線馬群から抜け出したのは三番、十番、続いて六番、少し遅れて外から十五番もあがってくる。二番手で粘る十番。並走して六番、大外から十五番。先頭は三番、三番、三番、二番手は混戦。粘る十番か、差しの六番か、大外から一気の追い込み。十五番届くか、届かないか！

S 2、ハアハアと息を切らして…

? ということは三番から流して六番か十番か十五番。

S 2 と、その時！

? え、まだ続きが？

S 2 空から光に包まれた一頭の白馬が、緑のターフに降り立ち、颯爽とゴール板を駆け抜ける。これぞ天啓。見えました。一着、十八番です。

? ええと、このレース十七頭立てですよ。

S 2 人の目にはそう見えるのかもしれませんが。しかし、神の目には十八頭目の白馬が見えているのです。そう、あれこそは伝説の白馬オグリキャップ。

? しまった、ただのヤバイ人だ。

?、それぞれの予想屋のところをフラフラと移動。

S 1 三から流して一、六、十五、本命と対抗で決まり決まり決まり！

T だから十一番プロレタリアトだつて。

H 一番三番、一番五番、一番七番、一番九番…

S 2 十八番。私には見える。フフ、フフフフ…

S 1 去年の同じレースも勝つて前走も1着、その上サンデーサイレンスの孫っていう最高の血統。とどめに乗るのが武豊。おまけに調教も万全、馬場も天気も最高だ。どこをどうしたら他の馬が来るのか教えてほしいくらいだよ。

T ジャジャーン、実は十一番プロレタリアトもサンデーサイレンスの孫娘。

H それを言い出したら、十七頭全部サンデーサイレンスの孫かひ孫ですね。

? え、そうなの？

S 2 いいえ、オグリキャップは違います。父ダンシングキャップ、母ホワイトナルビー。地方競馬から中央へ這い上がってきた雑草の苦勞人。私には見える、空から光につまれ舞い降りた白馬が大歓声に包まれながらウイニングランをする姿が。

S 1 (S 2を無視) 十一番って、牝馬だろ。無理無理、長距離レースで。牝馬は無理。

H 春の天皇賞で牝馬が勝ったのはこれまでの歴史の中でたったの一回。しかももう六十年以上前ですね。

T 一度あれば二度ある。二度あることは三度ある。

S 1、?に競馬新聞的な物を押し付ける。
?、競馬新聞的な物を近づけたり遠ざけたりして：

S 1 ほら見てこれ。見れば見るほど本命でしょ。三番光って見えるでしょ。

? あの、文字が小さくて、よく見えないんですけど。

T ほらみて、この上り調子な前走までの結果！

? え、どこですか？

H 注目ポイントはここです。過去のデータでは内枠有利。

? それはどこをみたら。

S 2 信じれば、見えてきます。十八番。

? 見えません。

S 1 ここも見て、ほら。十戦連続3着以内。着外になるわけがない。三番輝いて見えるでしょ。

? いや、わかりません。

T ほら、ここ、同じ京都の芝2400メートルで1着。

? ちよっと、近すぎ！

H データ的に、距離が違うレースの結果は予想の参考になりません。ウサインボルトが100mで世界最速でも、マラソンで勝てるわけではないのと同じことです。更に見るべきポイントはここ。奇数の馬番有利！

? 全然わかりません！

S 2 見えるでしょう、その文字の向こうに十八番オグリキャップ。

? だから見えないんですってば！

一瞬の静寂。

S 1 さあ、どうすんの。

T 何買うの。

H どれ選びます？

S 2 さあ急いで。

S 1 ほら、早く決めないと。

T もう×切だよ。

H 窓口行かないと。

S 2 間に合いませんよ？

S 1 ほら早く。

T 原稿を書いて。

H 入稿しないと。

S 2 間に合いませんよ。

S 1 出すんですよ、号外。

T 他所を出し抜いて。

H あなたしか知らないネタで。

S 2 世の中をあつと言わせるんでしよう。
 S 1 ほら。
 T ほら。
 H ほら。
 S 2 ほら。
 T 三・五(さんごー)
 S 1 # 九・八(きゅうはち)
 S 2 # 九・八(きゅうはち)
 ? 九・八?
 H 五・六(ごーろく)
 T 三・五(さんごー)
 S 1 # 九・八(きゅうはち)
 S 2 # 九・八(きゅうはち)
 H 五・六(ごーろく)
 T # この次は?
 S 1 # この次は?
 S 2 # この次は?
 H # この次は?
 ? :わかりません。
 T 六・十九(ろくとじゅうく)
 ? 十九?(じゅうく)
 S 1 # 一・十九(いちとじゅうく)
 S 2 # 一・十九(いちとじゅうく)
 H 十二・一(じゅうにといち)
 T 六・十九(ろくとじゅうく)
 S 1 # 一・十九(いちとじゅうく)
 S 2 # 一・十九(いちとじゅうく)
 H 十二・一(じゅうにといち)
 T # この次は?
 S 1 # この次は?
 S 2 # この次は?
 H # この次は?
 ? 見当がつきません!
 T 考えて。
 S 1 予想して。
 S 2 これまでの過去から
 H これからの未来を。
 T この数字の先にあるもの。
 S 1 この一見無意味な
 S 2 そして意味だらけの

H この数字の先にあるもの。

T、S 1、S 2、H、？を取り囲みながら：

T 至宝はあるけど高くはない。
S 1 福はあるけど岡はない。
S 2 延暦あるけど寺がない。
H 霊感はあるけど、山勘はない。
T 万はあるけど千はない。
S 1 国はあるけど、山河なく、
S 2 朱に交われど、赤くない。
H 神はあっても、仏はない。
T 永久はあるが、瞬間はない。
S 1 長寿はあるけど、短命はない。
S 2 大中あるが小がない。
H 白はあるけど黒はない。
S 2 金銀ないけど銅はある。
T 明はあるけど暗はない。
S 1 東西南北どれもなく、
H 上下左右もどれもない。
S 2 鶴はないけど亀はあり、
T 犬猿ないが雉はある。
S 1 老いはあるけど若くはない。
H 徳政令だと令だけない。
T 天下泰平、下がない。
S 1 文化はあるけど革命はない。
S 2 平和はあるけど戦争はない。
H 空はないけど、鳥と雲はある。
T 勝ちはあるけど負けはない。
S 1 吉はあるけど凶はない。
S 2 元があるのに子はない。
H 違いはないけど、同じはある。
T 文字はあるけど意味はない。
S 1 闇はなく、光はあつたはずだった。
S 2 闇はなく、光はあつたはずだった。
H 光はあつたはずだった。
T 光はあつた
S 1 # 光はあつた
S 2 # 光はあつた
H # 光はあつた

T …はずだった。

?、意を決したような表情で、手元のメモに何かを走り書きする。

? (大きく) 号外! 号外! !

その声に、一斉に「号外」の聲が上がる。
それぞれの手の競馬新聞が「号外」の新聞に変わる。

T 号外!

S 1 号外だ!

S 2 号外だよ!

H 新しい元号が決まったよ!

T 新元号は「光文(こうぶん)」!

S 1 元号は『光文』 枢密院(すうみついでん)に御諮詢(ごしじゆん)!

S 2 光(ひかり)に文(ふみ)と書いて「光文」だ。

H 明日にも枢密院の会議で正式に決定だよ!

T 号外!

S 1 号外だ!

S 2 号外だよ!

H 号外、号外!

? 号外、号外!!

T、S 1、S 2、H、?を取り囲む。

我先に?の手から号外を受け取ろうとする。

? 押さないで。並んで、並んで。順番に!

T、S 1、S 2、H、その声に従わず、?をもみくちやにする。

? 元号は『光文』 枢密院(すうみついでん)に御諮詢(ごしじゆん)! 光(ひかり)に文(ふみ)と書いて「光文」だ。明日にも枢密院の会議で正式に決定だよ!

T、S 1、S 2、H、号外を手に入れた順に去っていく。

と、そこにS 1が静かに入ってくる。

S 1 本日午前、枢密院会議に於いて、新元号が決議された旨、ここに発表する。新元号は「昭和」。書経の「百姓(ひやくせい) 昭明(しょうめい)、協和萬邦(きょうわばん) (きょうわばんぼう)」より、国民の平和および世界各国の共存繁栄を願い、名づけられたものなり。以上、官報に掲載し公布する。

? え?

静寂。

T、S 2、Hも静かに入ってくる。

T 新元号は「昭和」

S 1 「昭和」

S 2 「昭和」

H 「昭和」

? 嘘だ。

T 嘘じゃない。

S 1 なんだよ。

S 2 誤報か。

H 騙された。

T どんな取材してるんだ。

S 1 とんだ赤っ恥だな。

S 2 ガセネタ掴まされて気の毒に。

H 世紀の大誤報だね。

? そんな馬鹿な。そんなはずない、確かに調べて、確かにそう聞いた。新しい元号は

光ぶ…

T、S 1、S 2、H、その言葉をかき消すように…

T # 昭和。

S 1 # 昭和。

S 2 # 昭和。

H # 昭和。

ブレーカーの落ちるような音とともに、明かりがカットアウト。

少しの時間を置いて、溶明。

そこは元通り、後藤家の茶の間。

舞台にはT、S 2、H、?。

H これが世紀の大誤報と呼ばれた「光文事件」。「大正」の次の新しい元号は「光文」

に決定していたけれど、正式発表前に情報が洩れて新聞に出てしまったので、慌てて第二案の「昭和」に変えた…って言われています。

? その通りです。さすがお詳しい。

H 専門ですから。

T 東洋思想専攻よね。

H まだただの研究室付きだけだね。

S 2 お前、大学に残ってそんなことやってたのか。ていうか、その東洋なんとかと元号
つて、なんの関係があるんだ？

T 元号は四書五経とか、中国の古典の中から選んで決めるのよ。
S 2 母さんも詳しいな。

T 一応文学部。それに最近テレビなんかでもしよっちゅうやってるでしょ。

S 2 はあ、なるほど。父さん初めて知った。しかし、なんだ、それがウチと一体何の関
係があるんだ？

? ご存じないので？ お爺さん。

S 2 お爺さん？

T ほら、うちの方のお爺ちゃん。

S 2 ああ、中島（なかしま）家の？

? 宮内省で、元号の選定に関わっていらっしやったと聞いてますが。

T 私が生まれた時にはもう亡くなってましたから、詳しくは知らないんですけど、そ
うだったらしいです。

S 2 初耳だな。

T ずっと言ってたそうですよ。本当は「昭和」じゃなく、自分が決めた「光文」にな
るはずだったのに、つて。

? そうなんです。ですから、その子孫にあたるご一家に、新しい元号の予想をしても
らおうという企画です。完全に順番が逆になりましたが、改めまして。週刊文文の
後藤です。偶然ですが、同じ苗字ですね。

S 2、なんだか微妙におびえて…

S 2 週刊文文！？

? はい、芸能人から政治家まで、交際だ破局だ結婚だ不倫だ再婚だと、本来他人が知
ってても知らなくても大して影響がないような下世話なスクープ記事を中心に、た
まーに社会派な真面目な記事を書いております。

S 2 元号の予想、とか言つて、本当は違う取材とかじゃないだろうね。ない。ないぞ、
我が家にはその手のスキヤンダルは一切ない。

? ご安心ください。本当に元号予想の取材です。

S 2 あ、ああ、そう。

? というわけで、予想をお願いします。新しい元号の。

S 2 いや、いきなりそんなこと言われても。心の準備がねえ。孫の名前候補なら、覚悟
とともにいくつか考えてたんだが。

? あ、いや、後藤さんじゃなくて。

T はい。考えました。香香（シャンシャン）！ どうでしょう。

S 2 それ、上野のパンダの名前だろ。

T じゃあルンルン？

S 2 どんな漢字書くんだ、それ。

T ー、じゃあ真真（シンシン）。

S 2 離れなさいよ、パンダから。

T 同じ音を繰り返すのって、リズムカルでいいと思いませんか？

S 2 にしても、パンダと同じってのはないだろ。

T 駄目かしら。

H これまでの日本の歴史の中で、同じ音を繰り返すっていう元号は…残念だけどないね。でも斬新！

T でしょ！

? あの、できたら娘さんの方に予想していただきたいと…

T あら、ごめんなさい。

? あ、いえいえ。たしかに斬新です。万が一の大穴としてはありうるかもしれませんが、そういうの。

T でしょ！？

? (Hに)では、本命の予想を。

H、アンチヨコのようなノートをペラペラめくりながら…

H 実は、考えれば考えるほどわかんなくなっちゃって。

? ありますよね、そういうこと。

H これは絶対ないってのはわかるんですけど。

? 例えば？

H マ行、タ行、サ行、ハ行から始まることは、今回はありません。

? それはあれですよね。元号をローマ字で書いた時の頭文字が被らないようにするためですね。明治から平成までのM、T、S、H。

H その通りです。ですから、マ行、タ行、サ行、ハ行は絶対にならないと言えます。

T サ行：駄目か、シャンシャンとシンシン。

S 2 まだあきらめてなかったのか、それ。

T ルンルンはラ行だからまだあるわね。

S 2 ないよ。だからどうやって漢字で書くんだけれ。

T ルンルン：楽しい楽しいって書いて、ルンルン。

S 2 ほぼキラキラネームな読み方だが、それはありなのか？

H これまでの日本の歴史の中で、ラから始まるっていう元号は…残念だけどないね。でも斬新！

T でしょ！

H 斬新だけど、「読みやすいこと」っていう条件からは外れちゃうから駄目かな。

S 2 条件？ そういうルールみたいなやつがあるのか？

? ええ、元号は「漢字二文字で、読み書きしやすく、国民の理想としてふさわしいよ
うなよい意味を持つものであること。更にこれまでに元号やおくり名として使われ
たことがなく、俗用されていないもの」というルールがある、みたいですよ。

T じゃあ漢字の楽を使うっていうのはいいわけね。

S 2 まあ、それはいいんじゃないか。明るい時代になりそうで。

T 楽楽元年。

S 2 重ねるのあきらめてなかったのか。

T 楽楽。なんか百年くらい続きそうな気がしません？

S 2 いや、百年は無理だろ。いろんな意味で。

H これまでの日本の歴史の中で「楽」っていう漢字を使った元号は…意外なことになりね。

S 2 そうなのか？ 永楽通宝とか寛永通宝とか、なんか銭形平次が投げるお金の名前であるだろ。あの永楽とか寛永と違って元号じゃないの？

H そうだけど、永楽っていうのは日本じゃなくて、中国の元号。

S 2 そうなのか。父さん基本理系だから全然知らなかった。

? 他には何か。

H あとは画数が多すぎる漢字は微妙かも。決まりがあるわけじゃないけど、最近は一文字で九画以内、総画数でも十八画以内だと言われています。

? ええと、明治の明が八画、あれ？九画ですっけ？

H 画数についての論点はスライドにまとめていますので、こちらをご注目ください。

スライドで「明治」⁸、「大正」³、「昭和」⁹、「平成」⁵の画数と総画数が映し出される。

? 明治が八・八（はちはち）。総画数十六。

T 大正が三・五（さんご）。総画数八。

舞台奥の暗がりにはS1の姿。

S 1# 昭和が九・八（きゅうはち）。総画数十七。

S 2# 昭和が九・八（きゅうはち）。総画数十七。

H 平成が五・六（ごろく）。総画数十一。

S1の姿、消える。

? こうしてみると、確かに昭和の十七画って、多いですよね。

H 光文だったとしたら、六画・四画で全部で十画。

? なるほど。だとするとどれくらい候補になる漢字があるんですかね。

H 当用漢字で画数九画以下の漢字は八百七十七個あります

? 八百七十七？

T 結構多いわね。

? ええと、ということは漢字二文字の組み合わせの数で言うとき？

H ええと、だから…（指折り数える）

S 2 任せなさい。父さん理系だから計算は得意だ。同じ文字を重ねて使わなければ…

八七七×八七六〇って、ええつといくつだっけ。

舞台奥の暗がりからS1の声。

S1 (小声で) 七十六万八千二百五十二。
S2 え、何、聞こえない。
S1 (ちよい大きく) 七十六万八千二百五十二通り！
S2 そうそう、七十六万八千二百五十二通り：って多すぎだろ。
H そこから九画以下でも悪い意味のある漢字と、さっきのカタサハ行の漢字を除けば、八七七から三百文字くらいに絞り込めます。
S2 ええと、だとすると、三〇〇×二九九だから：

また舞台奥の暗がりからS1の姿。

S1 八万九千七百。式は三〇〇×三〇〇＝三〇〇〇。
S2 そうそう、八万七千九百。
S1 違う、八万九千七百！
S2 そうだそうだ、八万九千七百。八万九千七百通り：ってそれでもまだ多いな。

S1の姿、消える。

? たしかにこれじゃ全然絞り込めませんね。
T でもその何万通りかの組み合わせの中に、必ず正解があるってことなんですよ
ね？

? それはそうなんでしょうけど。
T だったら全部の組み合わせを書いたらいいんじゃないでしょうか。
H 斬新！

? 勘弁してくださいよ、それじゃ予想になりません。

T そうですか。
? できれば一つ、まあ本命・対抗・大穴って考えれば三つくらいまでに絞り込んで
いただければと。

H それじゃあ、ここからさらに候補を絞り込んでいくために、過去、元号に使われた
回数が多い漢字のランキングを見てみましょう。

S2 それ、先に見といたら、父さん無駄な計算しなくてよかったんじゃないか？

H てへぺろー。

S2 ちゃんと謝りなさい。父さん平成生まれのそういうところが大嫌いだ。

H、S2をガン無視。

H では、こちらをご覧ください。

S2 無視かおい。地味にこたえるなあ、そういうの。

H

ジャン!

スライドで過去の登場回数ランキングが投影される。
大相撲の番付のように、ランキングの下位に行くほど小さい文字で。
四十三位のあたりなどは、米粒のようにはしか見えない。

一位「永」 29回
二位「元」「天」 27回
四位「治」 21回
五位「応」 20回
六位「正」「長」「文」「和」 19回
十位「安」 17回
十一位「延」 「暦」 16回
十三位「寛」 「徳」 「保」 15回
十六位「承」 14回
十七位「仁」 13回
十八位「嘉」 「平」 12回
二十位「康」 「宝」 10回
二十二位「久」 「慶」 「建」 9回
二五位「享」 「弘」 「貞」 8回
二十八位「明」 「禄」 7回
三十位「大」 6回
三十一位「亀」 5回
三二位「寿」 「万」 4回
三四位「化」 「観」 「喜」 「神」 「政」 「中」 「養」 3回
四一位「雲」 「護」 2回
四三位「乾」 「感」 「吉」 「亨」 「興」 「景」 「衡」 「国」 「斎」 「至」 「字」
「朱」 「授」 「勝」 「昌」 「昭」 「祥」 「成」 「泰」 「鳥」 「禎」 「同」
「銅」 「白」 「武」 「福」 「霊」 「老」 「祚」 「雉」 1回

? H ?

あの、すみません。私、最近眼鏡の度が合っていないみたいで…
はい?

? S 2

小さい文字がよく見えませんで。

S 2

父さんも近眼と老眼と白内障と緑内障で、さっぱり見えないんだが。

H ?

(「老」を指して) これ、見える?

S 2

え、そこに文字あるの?

? T ?

私もさっぱり。

T ?

(目を凝らして) 「老」老眼の老。

H ?

正解!

S 2

すごいな母さん。

T 眼鏡の度数、合わせたばかりだから。
 S 2 そうか。父さんも眼鏡変えるかな。
 H これまでに元号に使われたことのある漢字はこの72文字だけ。
 T 72文字。まあまああるのねえ。
 H そして、明治以降に使われた漢字の登場回数はこんな感じですよ。

スライドで「明治」¹⁻²「大正」⁶⁻⁶「昭和」¹⁻⁹「平成」¹⁻²の登場回数が映し出される。

? 明治は、明が七回と治が二十一回。
 T 大正は、大が六回と正が十九回。

舞台奥の暗がりにS1の姿。

S 1 # 昭和は、昭が一回と和が十九回。
 S 2 # 昭和は、昭が一回と和が十九回。
 H 平成は、平が十二回と成が一回。

S1の姿、消える。

? ということは、昭和の昭の字と、平成の成の字は、その時に初めて使われた……って
 H ことですよね？

H おっしゃる通りです。昭和がもし「光文」だったとしても、光という漢字はこれまで
 T で使われたことがありませんでした。

T ということは、もしかしたら次の元号も、一文字はこれまで使われたことのない漢
 字になるのかしら？

? なるんですか？

H なるかもしれません。いや、私はそうなると思っています。

? いいですね、予想っぽくなってきましたね。

H つまり、直近二回の改元は、初めて使われる漢字と、使用回数が二けた以上の漢字
 の組み合わせでした。

T ふんふん。

S 2 なるほど。

H これが72文字全部。

スライドで72文字全てが映し出される。

「永」「元」「天」「治」「宥」「正」「長」「文」「和」「安」「延」「曆」「寛」「徳」
 「保」「承」「仁」「嘉」「平」「康」「宝」「久」「慶」「建」「亨」「弘」「貞」
 「明」「祿」「大」「龜」「寿」「万」「化」「觀」「喜」「神」「政」「中」「養」
 「雲」「護」「乾」「感」「吉」「亨」「興」「景」「衡」「国」「齋」「至」

「字」「朱」「授」「勝」「昌」「昭」「祥」「成」「泰」「鳥」「禎」「同」
「銅」「白」「武」「福」「靈」「老」「祚」「雉」

H そこから九回以下しか使われていない漢字を消すと、こうなります。

スライドで残りの候補の漢字が映し出される。

「永」「元」「天」「治」「応」「正」「長」「文」「和」「安」「延」「曆」「寛」「徳」
「保」「承」「仁」「嘉」「平」「康」「宝」

H そこから、画数の多いものを消し

スライドで残りの候補の漢字が映し出される。

「永」「元」「天」「治」「応」「正」「長」「文」「和」「安」「延」「保」「承」
「仁」「平」「宝」

H 明治以降に使われた漢字も消します。

スライドで残りの候補の漢字が映し出される。

「永」「元」「天」「応」「長」「文」「安」「延」「保」「承」「仁」「宝」

H 更に書きづらそうな漢字や画数が多めの漢字を外すと…

スライドで残りの候補の漢字が映し出される。

「永」「元」「天」「応」「長」「文」「安」「保」「仁」「宝」

H この十文字まで絞り込めます。

S 2 それでも十文字か。まあ競馬よりまし、競輪よりちよい難しいってとこだな。
H そして、最後にM T S H、「マ」「タ」「サ」「ハ」行の読みの漢字を消します。

スライドで残りの候補の漢字が映し出される。

「永」「元」「応」「安」「仁」

H 最後に残ったのはこの五文字。永(えい)、元(げん)もしくは元(がん)、
S 2 応(おう)、安(あん)、仁(じん)もしくは仁(にん)。

五文字、競艇より簡単だ！

T これなら、なんだか当たりそうな気がするわねえ。

? 素晴らしい。今の絞り込んでいくの過程も含めて、記事にしてもよろしいでしょう
か。

H もちろん。

S 2 この五文字に、これまで使われてない9画以下の漢字の組み合わせか…。
T それじゃあ永永（えいえい）とか、元元（がんがん）とかは駄目なのね。
S 2 だから同じ漢字を重ねるの、いい加減あきらめなさい。
T いいと思うんだけどなあ。元元元年（がんがんがんねん）。これも百年くらい続き
？ そうな気がしません？
？ 響きは最高に素晴らしいと思います。が、大穴で。
H もう一つ消すなら、安土桃山時代を最後に使われてない「仁」
？ なるほど。

スライドで残りの候補の漢字が映し出される。

「永」「元」「応」「安」

H どうですか。
H いいですね、なかなか論理的で説得力あると思います。
H ありがとうございます。
H ? では4つに絞り込めてきたところで、そろそろそのものズバリの予想を。
H ? それが…難しくて。
H ? といいますと？
H ? ここまで絞り込むのはできたんですけど、ここから先が難しくって。考えれば考える
T ほどわからなくなっちゃうんです。
T 頑張っ！
S 2 父さん応援してるぞ！
H 絞り込むのは論理的にできるんです。言い換えれば、データと、判断のための条件
H ? さえあれば、誰にでもできる。
H ? 確かに。そうかもしれないですね。
H ? でも名前を付けるということは、その名前に何かの思いを託すということです。そ
T れは論理ではなく感情です。
T 子どもの名前も同じよね。どんな時代に、どう生きて、どんな人になって欲しいの
H ? か。そんな思いを込めて、名前を付けるんだから。
H ? そうですね。
H ? その思いが、私にはわからないから。誰が、何を思って名前を付けるのか。それが
H ? わからないから、わからないんです。ここから先が。
H ? 誰が、何を思って名前を付けるのか、ですか。
H ? その誰かに、今の時代がどう見えているのか、そして次の時代はどんな時代になっ
てほしいと思っているのか、それがわからないから。

S 1 が姿を現す。

S 1 元気の元に子と書いて…

静かな間。

S 1

…元子（もとこ）。元子ってどうかな、文（ふみ）。

音楽。

H、？、S 2、消える。

【シーン2終了】

舞台にはTとS1。
そこはどこの家庭の一コマか。

T まだ気が早すぎますよ。生まれてくるのは来年の春ですよ。
S1 元子（もとこ）。元気な子であるように、元子。
T まだ男の子か女の子かかわからないのに。
S1 いや、なんかな、予感がするんだ。そう、夢で見たんだ。可愛い女の子の赤ん坊を抱きあげてる夢。
T なにかと思ったら、夢ですか。
S1 抱き上げると俺の顔を見て、大泣きするんだ。どんなにあやしても泣き止まなくて、ところがお前に抱かせると嘘みたくに泣き止んで笑うんだ。
T 元子、いいんじゃないですか。女の子だったら。
S1 そうだな。正夢じゃなくて逆夢で、もし男だったらどうするかな。

S1、少し考えて…

S1 こんなご時世だし、やっぱり勝利（かつとし）とか、勇（いさむ）とかかな。
T 結構多くないですか、その名前。
S1 確かに。ご近所の子どもにも結構いるな。じゃあ、昭和二十年生まれになるわけだから、昭和の昭に二十の二で昭二（しょうじ）ってどうかな。
T 長男なのに？
S1 それもそうか。
T それに昭和二年生まれみたい。多いでしょ、昭二さんとか昭五さんとか。
S1 そういや親せきにもいるな。…文は何かないの？
T ー、考え中。
S1 あるでしょ、何か。
T ないわけじゃないけど、考え中。…あ、そうそう、うちの父さんは「光」がいいんだって。男でも、女でも。
S1 「光」（ひかり）ね。いいと思うけど、なんでだろ。義父さん、利一郎だから別に一文字とったりしてるわけじゃないし。
T 理由は知らないけど、私に弟か妹が生まれたら「光」ってつけるつもりだったんだって。…結局、子どもが私一人だったからつけ損ねたのね。だから、できたら孫につて。
S1 それは断りづらいな。婿養子としては。
T 別にいいんじゃない？ 気にしなくても。
S1 家長（かちょう）の言うことを無下にするわけにもいかんだろ。
T 父さんももう還暦過ぎてるんだから、そろそろ家督も譲って隠居すればいいのに。

と、S1はそのままに、そこにS2が現れる。

S2 : 和子(かずこ)。平和の和に子で和子ってどうかかな。
T まだ気が早すぎますよ。生まれてくるのは来年の春ですよ。
S2 和子。平和な人生を送れるように、和子。
T まだ男の子か女の子かもわからないのに。
S2 いや、なかなか、予感がするんだ。そう、夢で見たんだ。可愛い女の子の赤ん坊を抱きあげてる夢。
T なにかと思ったら、夢ですか。
S2 抱き上げると俺の顔を見て、大泣きするんだ。どんなにあやしても泣き止まなくて、ところがお前に抱かせると嘘みたいに泣き止んで笑うんだ。
T 和子、いいんじゃないですか。女の子だったら。
S2 そうだな。正夢じゃなくて逆夢で、もし男だったらどうするかかな。

S2、少し考えて…

S2 こんなご時世だし、やっぱり和夫(かずお)とか、豊(ゆたか)とかかな。
T 結構多くないですか、その名前。
S2 確かに。ご近所の子どもにも結構いるな。じゃあ、昭和二十三年生まれになるわけだから、昭和の昭に数字の五で、昭五(しょうご)ってどうかかな。
T 五はどこから来たんです？
S2 ほら、漢字で二十三を書いたら二十三(にたすさん)に見えるだろ。だから昭五。
T 長男なのに？
S2 それもそうか。
T それに昭和五年生まれみたい。多いでしょ、昭二さんとか昭五さんとか。
S2 そういや親せきにもいるな。…文は何かないの？
T ー、考え中。
S2 あるでしょ、何か。
T ないわけじゃないけど、考え中。…あ、そうそう、うちの父さんは…
S1# 「光」がいいんだろ。男でも、女でも。
S2# 「光」がいいんだろ。男でも、女でも。

S1とS2、その時間と空間の境界を曖昧にしたまま…

S1 それは断りづらいな。婿養子としては。
T 別にいいんじゃない？ 気にしなくても。
S2 年長者の言うことを無下にするわけにもいかんだろ。
T 父さんももう還暦過ぎてるんだから、そろそろ仕事もほどほどにして、隠居すればいいのに。
S1 東洋比較言語学だっけ？

T そうそう、その舌噛みそうなやつ。
 S 2 学者に定年はないからねえ。
 T だからって突然フラッと出かけて行って、日本各地の地名の由来を調べて歩いたり、いったい何やってるんだか。
 S 1 老いてなお盛ん、ってやつだねえ。元気でいいじゃないの。
 T 「老いては子に従え」で、少しはおとなしくしてくれるといいんだけど。
 S 2 閃いた。正道（まさみち）。
 T その閃きはどこから来たの？
 S 1 ただの思い付き。
 S 2 こういふのはインスピレーションも大事だしな。
 T あなた、それ、敵性語。
 S 1 おつといかんいかん。こういうのは直感も大事だしな。
 S 2 正しい道を歩いて欲しいから、正道（まさみち）。
 T いいと思うけど、苗字とのバランスも考えないと。
 S 1 中島正道。「ま」が続くと言いつらいな。
 T でしょ？
 S 2 やっぱり思い付きじゃ駄目だな。
 S 1 中島光って、姓名判断ではどうなんだ。画数は。
 T もともと中島の4画・10画で合計14画が凶なのよね。
 S 2 どうでもいいよ、姓名判断とか。
 S 1 女の子なら、嫁げば苗字は変わるしな。あまり気にしなくていいんじゃないか。
 T 光は6画で大吉。
 S 2 画数の多い少ないで運勢が決まるって、じゃあ漢字じゃない国はどうすんだ。
 T 天画・外画・総画が凶で、地格・人格が大吉。
 S 1 それは、ちよつと極端な運勢だな。
 T あ！
 S 2 何？
 T 思いついた。
 S 1 名前？ どんなの？
 T 生きるって漢字を二文字重ねて、男の子なら生生（シヨウセイ）。
 S 2 よかった。イキイキとかセイセイとか言うのかと思った。
 T それでもいいわね。
 S 1 いや、それはさすがに斬新すぎるだろ。
 T 冗談よ。
 S 2 真顔で冗談言わないでくれるか。
 T 女の子なら漢字は同じで、読みはいくみ。
 S 1 なるほど。「生」って漢字は読み方が沢山あるからねえ。
 T あまり多くを望まなくても、無事に生まれてきて、生きてくれれば、それだけで十分だなんて。
 S 2 うん。うん！ いいんじゃないか？

T 姓名判断も、総画24画で大吉！「すべてに恵まれ、何不自由ない人生を送れませう」ですって。

S1 そうか、それはいい名前だ。こんなご時世だ。生きて、生き抜いて。生きていけば、それだけでも幸せといえるかもしれない。

S2 名は体を表す。そうであってほしい。いつも望んだようにはならない、時代の名。元号とは違って。

?、静かに姿を現し…

? だから、光文にしておけばよかったんだ。

音楽。

T、S2、去る。

S1 新元号は「昭和」。書経の「百姓（ひやくせい）昭明（しょうめい）、協和萬邦（きょうわばんぱう）」より、国民の平和および世界各国の共存繁栄を願い、名づけられたものなり。

? 嘘だ。

S1 嘘？

? 新元号は、光文。光文なんだ。

S1 そのような誤報もあったようですね。

? 誤報なんかじゃない。

S1 ただのデマ、誤報ですよ。しかも書いた記者の名前が後藤何某とか。いい笑い話です。巷では「日日新聞の誤報さん」などと呼ばれておるらしいですな。

?、S1をにらみつける。

S1 これは失礼。あなたがそうでしたか。

? ちゃんと調べたんだ。証拠だつてある。

S1 証拠。

? 誰に聞いたとか何を持っているとか、それは言えない。言えないが、確かに証拠はあるんだ。

S1 宮内省付きの中島利一郎とかいう学者は、そのようなことを言っておるらしいですな。

?、動揺を必死に抑えている。

S1 それとも枢密院の黒田長成（ながしげ）侯爵ですか。

?、抑えきれず、動揺が表情に出る。

S 1 後藤さん、あなたはそう仰るが、肝心の宮内省案の中にその「光文」：でしたかな。そのようなものは初めから入っておらんです。確かに、内閣案の中にはあったようですが。それも早々に候補からは外れております。

? そんなはずはない。宮内省から枢密院に提出された最終候補は「光文（こうぶん）」を含む三案。そもそもその中に「昭和」なんて入っていない。

S 1 そのような記憶はありませんな。

? 記憶なんてどうでもいい。記録だ。記録はどうなってる。

S 1 本来お話しする必要はありませんが、そうまでおっしゃるんですから、特別に教えて差し上げましょう。枢密院で審議された最終候補は「昭和」「元化」「同和」の三案。その中から順当に「昭和」が決まっただけの話です。

? 嘘をつくな。

S 1 嘘? いったい何を根拠に。

? それじゃあどうして順当な候補に決まっただけの会議が、三時間近くもかかったんだ。

S 1 それは…。

? 朝六時四十五分という早朝に会議が招集されたのは、一刻も早く元号の発表をしなければならなかったからだろう。それなのに何故、そんなに長い時間がかかったんだ。ウチの号外の報道を受けて、急遽、他の元号に差し替えるかどうかの議論をしていたんじゃないのか!

静かな間。

S 1 の表情が少し強張って見える。

S 1 …それは。

緊迫した長い間。

S 1 それは、そう、…当日になって、別のもう一案を提案した者がおりましてな。

? 当日に提案? ありえないだろ、そんなこと。

S 1 あり得るか、あり得ないかは置いておいて、少なくとも、私はそのように聞いております。

? それだけのことで三時間もかかったと?

また少しの緊迫した間。

S 1、静かに言葉を一つ一つ選ぶように慎重に…

S 1 それから。元号とともに発表する詔書の文案を修正するのにも、かなりの時間を要したとのこと。

? 逆に尋ねるが、証拠は?

S 1 公開は致しかねますが、枢密院の議事録にも、その他のいくつかの公文書にも、当日追加で一案の提案があり審議され、否決された旨。それから元の三案から「昭和」が選ばれたのち、詔書文案の修正につき議論し決定した旨、過程がきちんと記録されております。

? :まさか。

S 1 何か？

? 書き換えたのか。

S 1 書き換える？

? つじつまを合わせるために、遡って全ての記録を改ざんした。そうなんだろう。

S 1 何をおっしゃるんですか。公文書ですぞ。

? 公文書だから何だ。石にでも刻んであるのか。紙に筆で書いたようなもの、やろうと思えばいくらでも書き換えられるだろう

S 1 そのようなこと：

? ありえない、と断言できるのか。

S 1 ありえないし、あつてはならない、と個人的にはそう考えます。

? あつたんだろう

S 1 ありえませんが。

? やつたんだろう！

S 1 そのように色眼鏡で見るのはやめていただけませんか。

? 色眼鏡？

S 1 はじめから疑ってかかるあなたにはそう見えるのかもしれませんが。しかし、それは私の目に見えているものとは違う。

? 何が違うんだ。

S 1 何もかもが。

? 違う。真実は一つ。

S 1 違いますな。それをおっしゃるなら「事実の一つ」。

? 何が言いたい。

S 1 何が起こったのか。事実の一つです。しかし真実は、その事実を解釈したそれぞれの心の中に無数に存在する。

? 俺の信じる真実と、お前の信じる真実は違う、と？

S 1 そういうことです。

? 話にならん。

S 1 そういう意味では真実とは、正義とよく似ています。それぞれの信じる正義は、いつも相いれない。今のあなたと私のようにね。だから、いつの世も人は平和な時代を願い、しかしその願いとほうらはらに、いつの世も争いは絶えない。

? 屁理屈だな。

S 1 誤報です。

? 誤報じゃない。

S 1 誤報ですよ。日日新聞の誤報さん。

? 俺を誤報と呼ぶな！

音楽。

スクリーンに「光文」「昭和」などの過去の元号が高速で映し出される。
舞台には小淵官房長官風の眼鏡を取り換えたS1。

S1 ただいま終了いたしました閣議で、元号を改める政令が決定され、本日中に公布される予定であります。新しい元号は平成であります。

S1、額に入った「平成」の文字を四方に示す。
スクリーンに「平成」の文字が映し出される。

S1 この新しい元号は、政令公布の日の翌日である、一月八日以降において用いられることとなっております。また、ただ今の閣議で元号の読み方に関する内閣告示と、改元の際しての内閣総理大臣談話が閣議決定されました。
新元号の平成は、史記・五帝本紀（こていほんぎ）の「内平かに外成る（うちたいらかにそとなる）」、及び、書経・大禹謨（だいいうぼ）の「地平かに天成る（ちたいらかにてんなる）」の文言の中から引用したものであります。
新元号・平成には、国の内外にも天地にも平和が達成されるという意味が込められており、これからの新しい時代の元号とするにもっともふさわしいものであると思います。

再度スクリーンに「光文」「昭和」などの過去の元号が高速で映し出される。
S1、消える。

やがて残りの候補の「永」「元」「応」「安」の四文字が映し出される。
そこは元通りの後藤家のお茶の間。
舞台にはT、S2、H、？。

？ H ？ 誰が、何を思って名前を付けるのか、ですか。

その誰かに、今の時代がどう見えているのか、そして次の時代はどんな時代になつてほしいと思っているのか、それがわからないから。

？ S2 ？ 誰が、というと、閣議で決めるわけですから内閣ということになりますね。

S2 T 内閣って言っても大臣とか官房長官とか、色々いるよな。

T 閣議って、どうやって決めるの？ 多数決？

？ H ？ たしか、全員一致が原則のはずです。

H ？ 全員一致って、全員が同じことを思う、なんてことがあるんでしょうか。

？ T ？ まあほら、そこはそれ。

T ？ ねえ。

S2 T ？ なんとなく空気を読んで、総理大臣の意向を、今流行りのソから始まるあれでアレするんだろ。

T ？ ということは、来年春から安倍元年。

S 2

さすがにそれは露骨すぎて無いだろ。

T

これまでの倍、安全安心な世の中になりますように。

S 2

意味はいいけど、どうなんだそれ。

H

恐ろしいことに、「倍」っていう漢字は初登場。

S 2

そもそも人の苗字だろ。さっき言ってたルールのどれかに引つかかるんじゃないのか？

?

安心してください、バッチリ引つ掛かります。あり得ません。

H

ですね。

T

駄目かあ。

?

ただ、実は私も個人的には「安」を使うんじゃないかと思ってるんです。

H

確かに。あるかもしれません。

?

でしょ！？

S 2

それは、何か理由があるのか？

H

ここまで「昭和」「平成」と二回続けて、世の中の平和を望む意味の元号が続いたでしょ。

S 2

そうだな。

H

そういう意味では、「安」が一番しつくりくるんじゃないかなあって。

スクリーンに「安」の一文字だけが残る。

S 2

なるほど。そういわれると、これしかないような気がしてくるな。

T

安三（あんぞう）元年。安心の安に、漢数字の三で安三。これまでの三倍安全安心な世の中になりますように。

S 2

母さんもかなり付度するな。

H

三も初登場。

?

じゃあ、あり得る！

H

だけど、多分数字は紛らわしくなるからなと思う。

?

そうですか。

T

安倍晋三の安に、安倍晋三の晋で、安晋（あんしん）

S 2

もはや付度の気持ち隠そうという気が一ミリもないな。

T

…だと、露骨だから、新しいと書いて、安新。

?

微妙に付度しつつ響きもいいのでなんかありそうですけど、残念ながら新が画数オーバーです。

T

あらまあ残念。じゃあ、安安（あんあん）。

S 2

もう何度言ったかわからないが、それはあきらめなさい。

?

どうですか、ここまで絞り込めれば、もう予想できちゃうんじゃないですか？

H

あとは、何を思っただけなのか。この時代がどうだったか。そして、新しい時代にはどうなって欲しいのか。その思いだけです。

?

この時代、そうですね。どうだったんでしょうか。平成って。まだ終わってはいませんが。

S 2 この時代がどうだったか。そして新しい時代にどうなって欲しいのか、か。

一同、再度考える。
特にHは集中して熟考。

T じゃあアンアン。

S 2 それ、さっき言ったばっかりだろ。大丈夫か。母さん。

T わかってますよ。同じ漢字を重ねるのは駄目だから、木に口を書く杏に安全の安。木に口。杏（あんず）のアンですか。

? そうそう。杏のアンに、安全のアンで杏安。

S 2 ああ、そういうことね。まあ、ならセーフなんだろうけど、それ、意味は？ どころきたんだ杏のアンって。

T 花言葉。

S 2 またメルヘンな方向から持ってきたな。

T 杏の花言葉は「疑惑」。本当に安心で平和な世の中になるか、疑わしいから。

S 2 駄目だろ、そんな暗い意味。

T 見た目、なんかよさそうだからみんな騙されるんじゃない？

S 2 おいおい。

T それに、明るい意味の名前をつけたって、どうせ逆にしかならないんだから。だって初めから暗い意味の名前にしといたら、逆に明るい平和な時代になるんじゃないかなあつて。

S 2 思ったより、深い。が、なんともいえん。

? わかりました、面白いと思います。じゃあそれを三つ目の大穴案ということであ！

S 2

S 2、何か閃いた様子。
と、閃いた瞬間、S 1が姿を現す。

S 1# :閃いた！ コウアンってどうかな。

S 2# :閃いた！ コウアンってどうだろう。

? コウアン。

S 1 光るに安と書いて光安。光が闇を照らすように明るく平安な世の中になるように。

S 2 広いに安と書いて広安。広く世の中が安全で平和になるように、

? なるほど。たしかに画数も少ないし、これまで使われたことがない。

S 2 (自慢げ) いやあ、これはもしかして、当てちゃったかもしれない。

S 1 (鼻高々) 真打は最後に登場ってやつですな。

? では、これを二つ目の対抗案に。ではいよいよ本命の第一案。

T、S 1、S 2、?、Hに視線を集中。

H、まだ熟考中。

? どうですか、何か考えつきましたか？

H、熟考の末に：

H カイアン。

? カイアン？

H 改めるに安って書いて、改安。

? 意味は？

H 憲法を改正したり、働き方を改革したり、税率を改定したり、構造改造したり、改めることばかりの年になるから。そして時代が改まって、世界が安らかに平和であるように。

? なるほど。ありがとうございます。これで予想が出そろいました。いい記事になりそうです。

静かな間。

T # 。

S1# 。

S2# 。

H # 。

H で、あなたはもう思うんです？ 後藤さん。

? え？

音楽。

T、S1、S2、H、平成という時代を振り返る。

T 昭和が終わって、平成が始まって。土地バブルがはじけて

S1 ITバブルがはじけて

S2 リーマンショックがあつて

H 年金も消えて

T 消費税の3%が

S1 5%になって

S2 8%になって

H どんどん増えて

T 選挙して

S1 解散して

S2 三十年で十七回も総理が変わって

H 三十年で四十七回も内閣を改造して

T 神戸で

S 1 三陸で
 S 2 福島で
 H 日本のあらゆるところで
 T 噴火や
 S 1 地震や
 S 2 津波や
 H 台風や
 T 大雨や
 S 1 洪水や
 S 2 地滑りで
 H 人が沢山死んで
 T 二酸化炭素が増えて
 S 1 地球が温暖化して
 S 2 オゾン層に穴が開いて
 H 黄砂とPMが空気を汚し
 T ありえない暑さに
 S 1 ありえない寒さに
 S 2 ゲリラ豪雨に
 H すべてを覆うような豪雪
 T サリンが撒かれ
 S 1 小学生の首が校門に置かれ
 S 2 通り魔が次々人を刺し
 H 毎日誰かが他人と自らを殺し続ける。
 T そんな時代です。そんな時代でした。そんな時代とそれに続く時代。あなたにはど
 う見えるんです。その目を：いえ：その眼鏡を通して。

T、S 1、S 2、H、じわじわと？を追い詰める。
 眼鏡をはぎ取られる、？。
 そして、それぞれが？に自分の眼鏡をかけさせたり、形を変えたりと
 ？を自分の思うように変えようとする。

T マシな時代だった。
 S 1 駄目な時代だった。
 S 2 ろくでもない時代だった。
 H ヤバイ時代だった。
 T 違うでしょ。
 S 1 違うよ。
 S 2 こうだろ。
 H こうでしょ。
 ? やめろ！

T S H S
1 1 2 2

右。左。下。上。

T、S 1、S 2、H、時計周りに四分の一周。
一周廻って元に戻る。

S H T S
2 2 1 1

右。左。下。上。

T、S 1、S 2、H、時計周りに四分の一周。

S T S H
1 1 2 2

右。左。下。上。

T、S 1、S 2、H、時計周りに四分の一周。

H S S T H S S T
2 2 1 1 2 2 1 1

上？
下でしょ。
左じゃないの。
右でしょ。
上でしょ、私の方が。
下だね、お前の方が。
偏ってるね、左に。パヨクだね。
駄目だね。右だね。ネトウヨだね。

T、S 1、S 2、H、時計周りに四分の一周。

？、ついには床に押し倒される。
そこに群がるT、S 1、S 2、H。
抵抗する、？。
？、床の一部をはぎ取ると、そこに巨大なランドルト環が姿を現す。
そのランドルト環の中心に、？。
T、S 1、S 2、H、それを取り囲んで。

T だから上だつて。
S 1 どうみても下だろ。
S 2 左だよ。目空いてんのか。
H 右でしょ。眼鏡買い替えたら？

T、S 1、S 2、H、時計周りに四分の一周。
同じものを見ているはずなのに、それぞれの信じる真実はまるで一致しない。

T だから単勝十一番プロレタリアートだつて。
S 1 三番、三番、間違いなく三番。
S 2 十八番。それが神の意志。
H 内粹奇数で一番三番・一番五番・一番七番。

T、S 1、S 2、H、時計周りに四分の一周。

T 杏安。
S 1 光安。
S 2 広安。
H 改安。

T、S 1、S 2、H、時計周りに八分の一周で止まり…。

T # で、答えは！？
S 1 # で、答えは！？
S 2 # で、答えは！？
H # で、答えは！？
? (聞こえないくらいに小さく) ごめん、わからない。(はっきりと) わかりません！

音楽。
舞台を無数の眼鏡が覆いつくす。
それは様々な「見え方」の象徴か、それとも戦場の遺品か。

? この時代がどうだったか、それすらもバラバラに見えるのに、どうして次の時代に名前を付けることができるでしょうか。わかるのは、ただひとつ。無理やり何かの思いを込めて、何かの名前を付けたとしても、きつとそんな時代にはならない。現実はいつても、言葉と裏腹だ。これまでの時代がそうだったように、きつとこれからの時代もそうはならない。

?、自分の眼鏡をかけなおし…

？

想いが違うものに、どうして同じ名前を付けられる。同じ想いで、次の時代に名前をつけるのなら、あの時、名前を付ければよかったんだ。昭和二十年八月十五日。世界の平和を願いつけるのなら、こう名付ければよかった。…「戦後」と。願いもむなしく、ただ、時だけが経った。平成三十年。いや…

？、静かに髪を掴み：取り去る。

三十歳くらいの風貌が一気に七十歳半ばのように変貌する。

？

西暦二〇一八年。戦後七十四年。

音楽。

静かに暗転。

【シーン3終了】

カシヤリとスライドが切り替わるような音。
壁に四角い光が投影される。
その中心に大きめの右のランドルト環。
その四角い光の傍らに、？が一人。
手に指示棒を持ち、ランドルト環を指して：

？
これは？

眼鏡をかけ、遮眼子で片目を覆う、T、S1、S2、Hの姿が浮かび上がる。

T
S1
S2
H
アルファベットのC（シー）。
キリル文字のС（エス）。
オグリキャップの蹄鉄。
わかりません。

壁に「V」が上下逆になった形が投影される

？
T
S1
S2
H
では、これは？
さかさまになったV（ヴイ）。
ギリシャ文字の>（ラムダ）。
地図記号の針葉樹林。
わかりません。

壁に長岡画伯の「おまかせ」の絵が投影される

？
T
S1
S2
H
？
それでは、これはどうでしょう。
（おまかせ）
（おまかせ）
（おまかせ）
理解できません。
結構です。では、反対の目を隠してください。

T、S1、S2、遮眼子を反対の目に。
H、「反対の目も」と聞き間違えたのか、両方の目を隠す。

？
準備はよろしいですか？ これはどうでしょう？

スクリーンに大きめに「エ」と投影される。

T 横倒しのH（エッチ）。
S 1 蟹工船の工。
S 2 書きかけの王。
H 見えません。
? では、これは？

スクリーンの「エ」の下に少し小さく「口」と投影される。

T 角ばったO（オー）。
S 1 千代県庁口の口（くち）。
S 2 豆腐。いや、絹ごし豆腐。
H 見えません。
? では、これは？

スクリーンの「エロ」の下に少し小さく「イ」と投影される。

T 書きそこなったT（ティー）？
S 1 斜めになった人（ひと）。
S 2 にんべん。
H 見えません。
? では、これは？

スクリーンの「エロイ」の下に少し小さく「カ」と投影される。

T （首を左右にひねって）え、わかりません。そんなアルファベットありませんよね。
S 1 長州力の力（りき）
S 2 消臭力の力（りき）
H 見えません。
? では、上から順に…

？、「エロイカ」を上から順番に指して…

T # 横倒しのH。角ばったO。書きそこなったT。わかりません。
S 1 # 蟹工船の工。千代県庁口の口。斜めになった人。長州力の力。
S 2 # 書きかけの王。絹ごし豆腐。にんべん。消臭力の力。
H # 見えません。見えません。見えません。見えません。
? みなさん、眼鏡の度、合ってないんじゃないやありませんか？
T ちゃんと見えています。
S 1 何か問題が？

S 2 自分的にはばっちりです。
H 全然見えません。
? そうですか。では、こちらで検査してみましょう。

?、幕を引き落とすと、その向こうに壁一面の視力検査表が現れる。
その一番上の段に右のランドルト環。

? これは?
T # アルファベットの…え?
S 1 # キリル文字の…え?
S 2 # オグリキヤップの…え?
H # わかりませ…え?

T、S 1、S 2、Hが答え終わるより前に、ゆつくりと検査表のランドルト環が動き始める。

? (同じところを指して) これは?

音楽。

残りのランドルト環や文字・記号も一斉に様々な方向と速度で回り始める。それは目の前で今も流転し続ける時代のように。

?、色々な文字を指し続ける。

それに答えようとしては、変化に戸惑う人々。

変化し続けるものに名をつけようとする無謀な人々の群れを残し…

やがて、暗転。

【幕】

脚本執筆に際し、以下の書籍・サイトを参考にしました

「元号全247総覧」

山本博文 編・著（悟空出版）

「元号でたどる日本史」

グループSKIT 編・著（PHP文庫）

「光文事件」

wikipedia